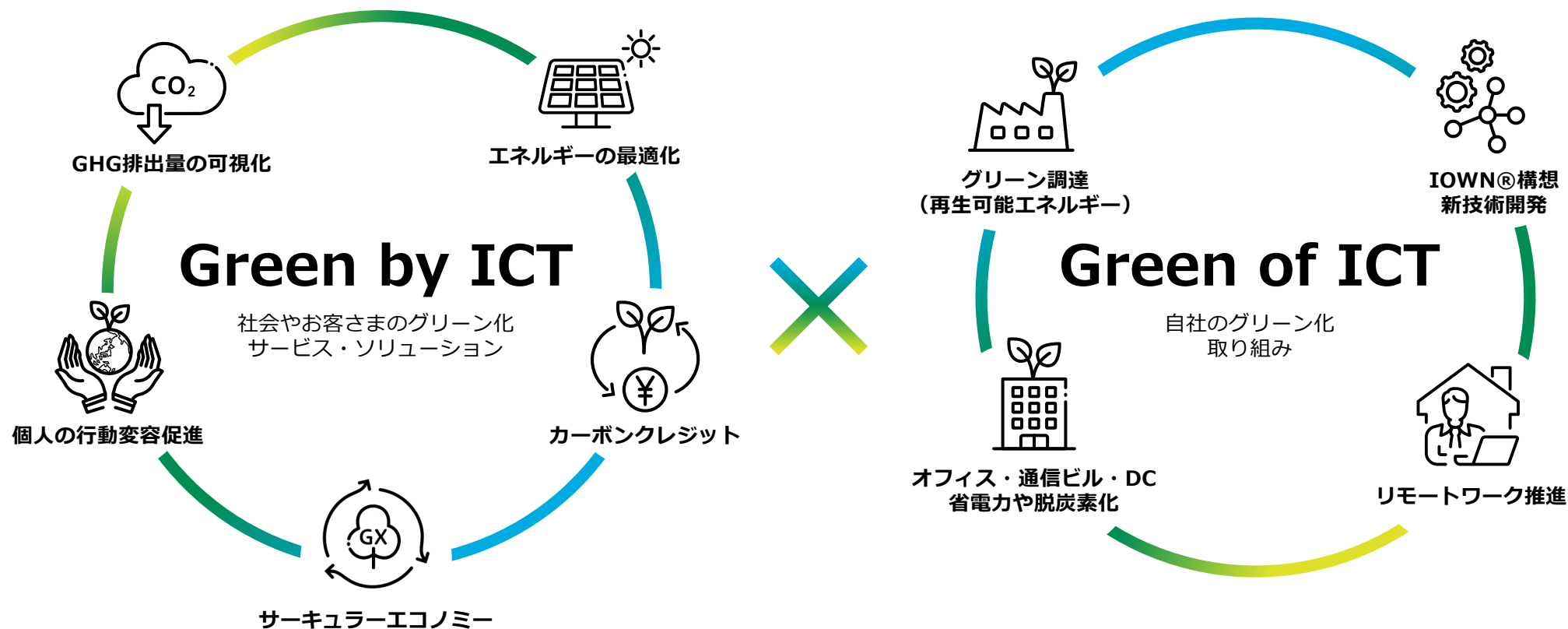


森林価値創造プラットフォーム（「森かち」） のサービスについて

NTTコミュニケーションズ株式会社

NTT ComのGXに関する取り組み



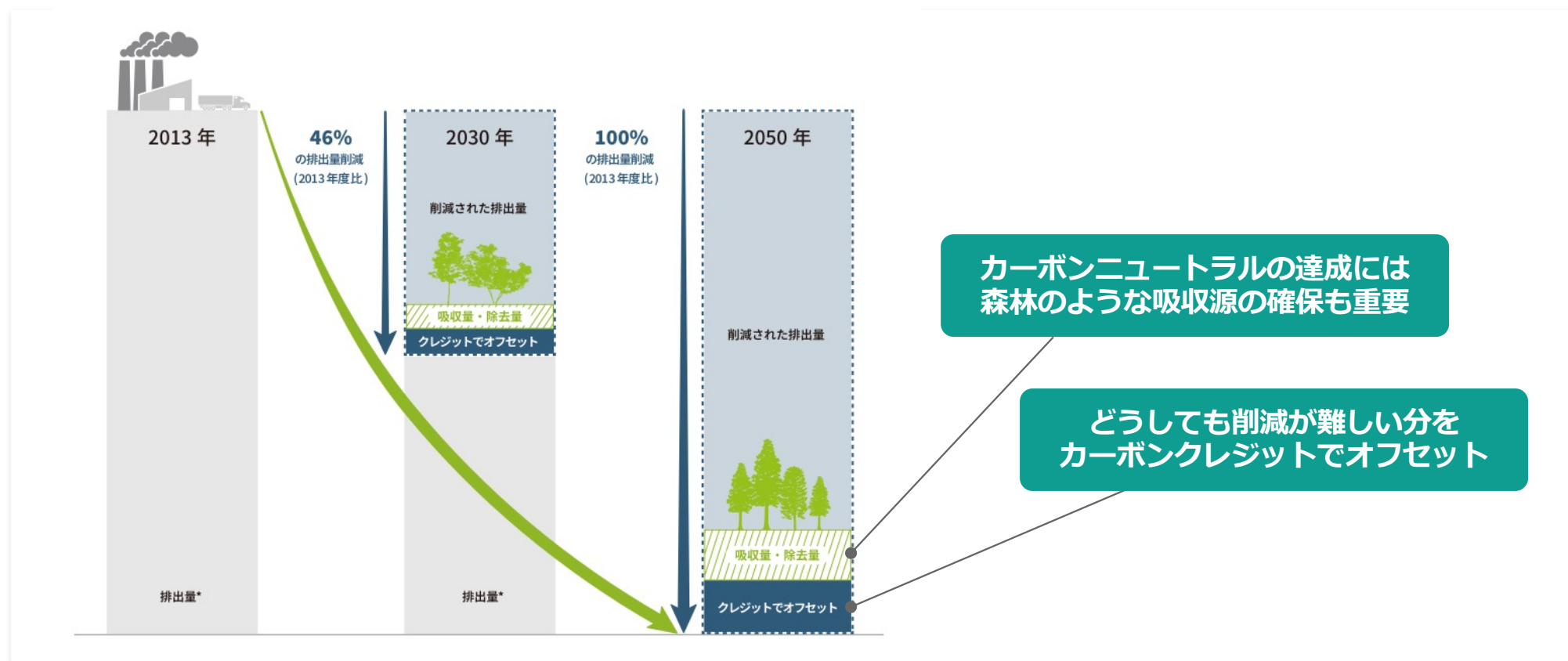
カーボンニュートラル社会の実現に向け、自社のグリーン化に加え
社会やお客さまのGXを推進するサービス・ソリューションを提供しています



森林価値創造プラットフォーム（「森かち」）について

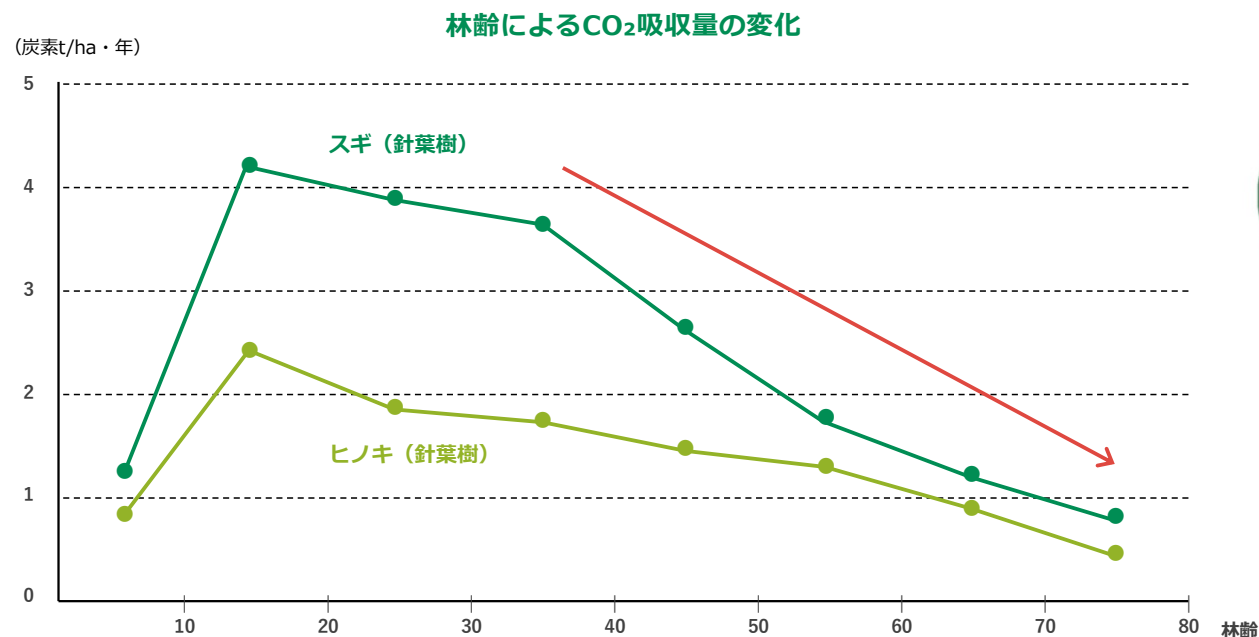
カーボンニュートラルに向けて

- 排出削減を実行に移すと同時に、森林のような吸収源の確保も重要
- どうしても削減が難しい分をカーボンクレジットによりオフセットする仕組みがある



国内森林の整備不足による吸収量低下の懸念

- 担い手不足、整備資金の不足などから、国内森林による吸収量の低下が懸念されている
- 森林の整備不足は水源の涵養、土砂災害防止、生物多様性保全などの多面的機能の低下にもつながる



森林の整備不足はCO₂吸収量の低下だけでなく、森林の多面的機能の低下にもつながる

カーボנקレジットの活用による森林・木材の循環利用

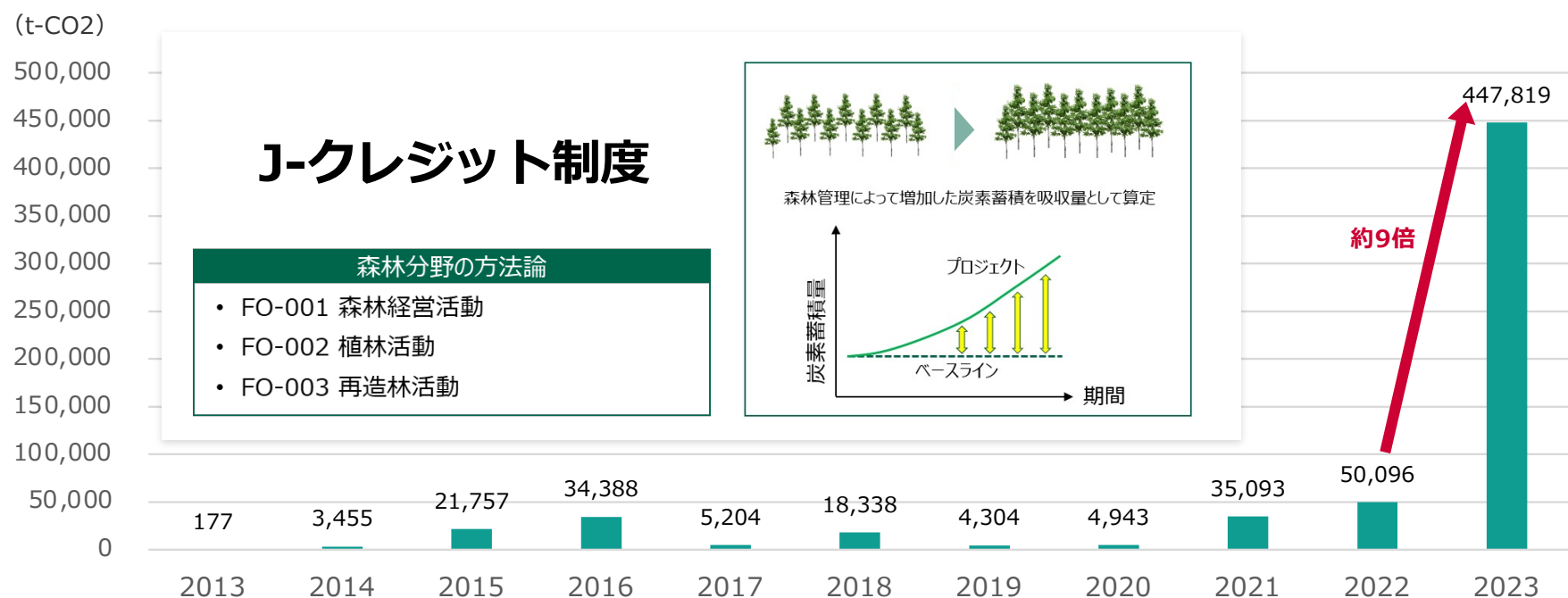
- 森林・木材の循環利用を促進させることが、二酸化炭素吸収の他、森林のさまざまな機能を発揮させるために必要
- 森林・木材の循環利用の起点となる森林整備の資金の一部をカーボנקレジットの収益により確保



森林由来J-クレジットについて

- 日本国政府（経済産業省、環境省、農林水産省）が管理するクレジット制度
- 森林クレジットとしては3つの方法論があり、現在、**発行量が急増中**

森林由来J-クレジット年間発行数量推移



※2024年4月 林野庁公表資料より

森林由来J-クレジットの需要について

- GX-ETSが2023年より開始し、適格カーボンのクレジットとしてJ-クレジットの使用が認められている
- 林野庁が実施したアンケートでは、回答したGXリーグ参画企業のうち約1/4が森林由来J-クレジットを購入予定



GX-ETSの第1フェーズの概要

1. プレッジ



- 国内直接・間接排出（※）それぞれについて、以下を設定
 - ① 2030年度排出削減目標
 - ② 2025年度の排出削減目標
 - ③ 第1フェーズ（2023年度～2025年度）の排出削減量総計の目標
- 目標水準は各社が自ら設定

2. 実績報告



- 国内直接・間接排出の排出量実績を算定・報告
- 排出量の算定結果につき、第三者検証が必要

3. 取引実施



- 排出量取引の対象は、国内の直接排出分のみ（いわゆるスコープ1に相当）。
- 排出実績が1.③第1フェーズの排出削減量総計の目標を上回る場合、超過削減枠や適格カーボン・クレジットの調達又は未達理由を説明
- 他社に売却可能な「超過削減枠」の創出は、NDC水準（※1）を超過削減した分（※2）

※1 基準年度が2013年の場合、基準年度排出量からの削減率が2023年度27.0%、2024年度29.7%、2025年度32.4%

※2 制度開始時点で、2023年度のNDC水準を超過達成している場合の取扱いは、『GX-ETSにおける第1フェーズのルール』P51以下参照

4. レビュー



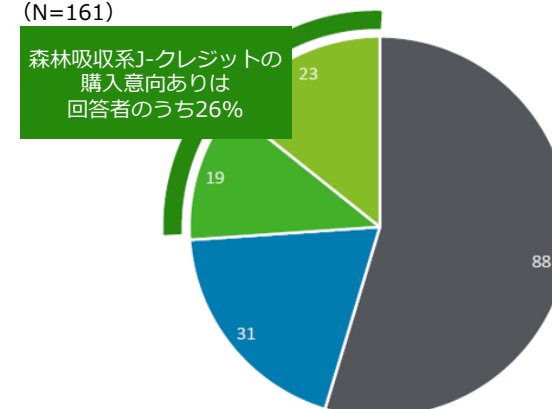
- 目標達成状況及び取引状況は、情報開示プラットフォーム「GXダッシュボード」上で公表
→具体的な開示の在り方については、今後参画企業との対話を通じて検討。
- 排出削減と成長に果敢に取り組む多排出企業に対しては、各種支援策との連動を検討

※ 本資料において間接排出とは、エネルギー起源間接排出、いわゆるスコープ2を指す。

※GXリーグWebサイトより

(N=161)

森林吸収系J-クレジットの
購入意向ありは
回答者のうち26%



クレジットの購入予定なし

削減目標の達成に関係なく、
森林由来J-クレジット
購入予定

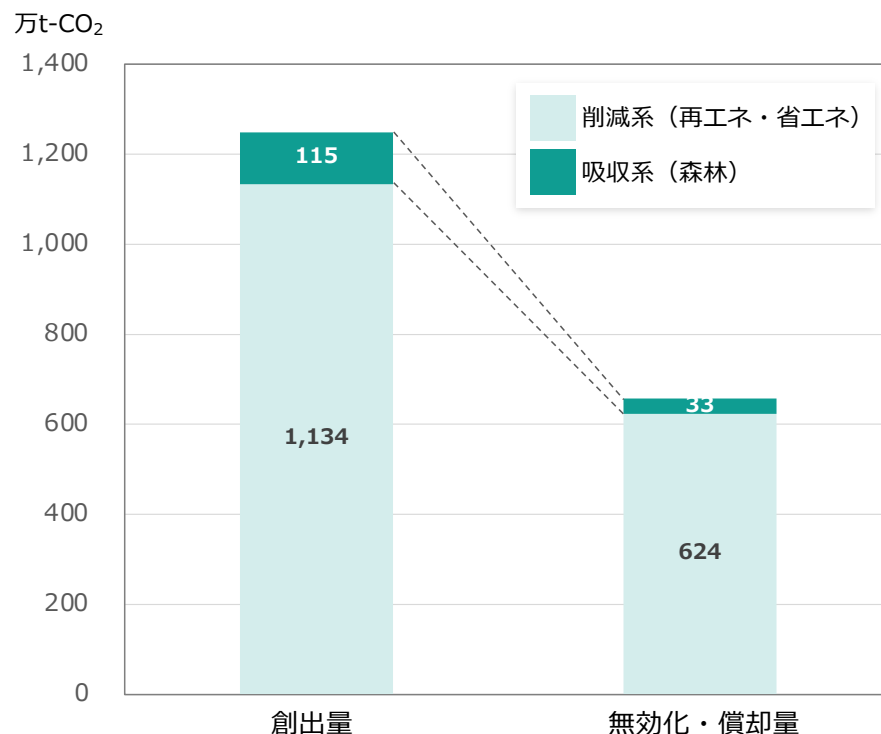
森林由来J-クレジット以外の
クレジットの購入検討中

目標達成手段として
森林由来J-クレジット
購入予定

※GXリーグ参加企業に対する森林由来J-クレジットの
購入意向に関するアンケート
(林野庁 令和5年山の炭素吸収応援プロジェクト報告書より)

森林由来J-クレジットに関する課題

- J-クレジットの中で森林由来のものは再エネ・省エネのクレジットと比較して創出量は約10%、無効化・償却量は約5%
- 創出量・流通量の拡大のためには創出者、審査機関、購入者、それぞれの課題を解決する必要がある

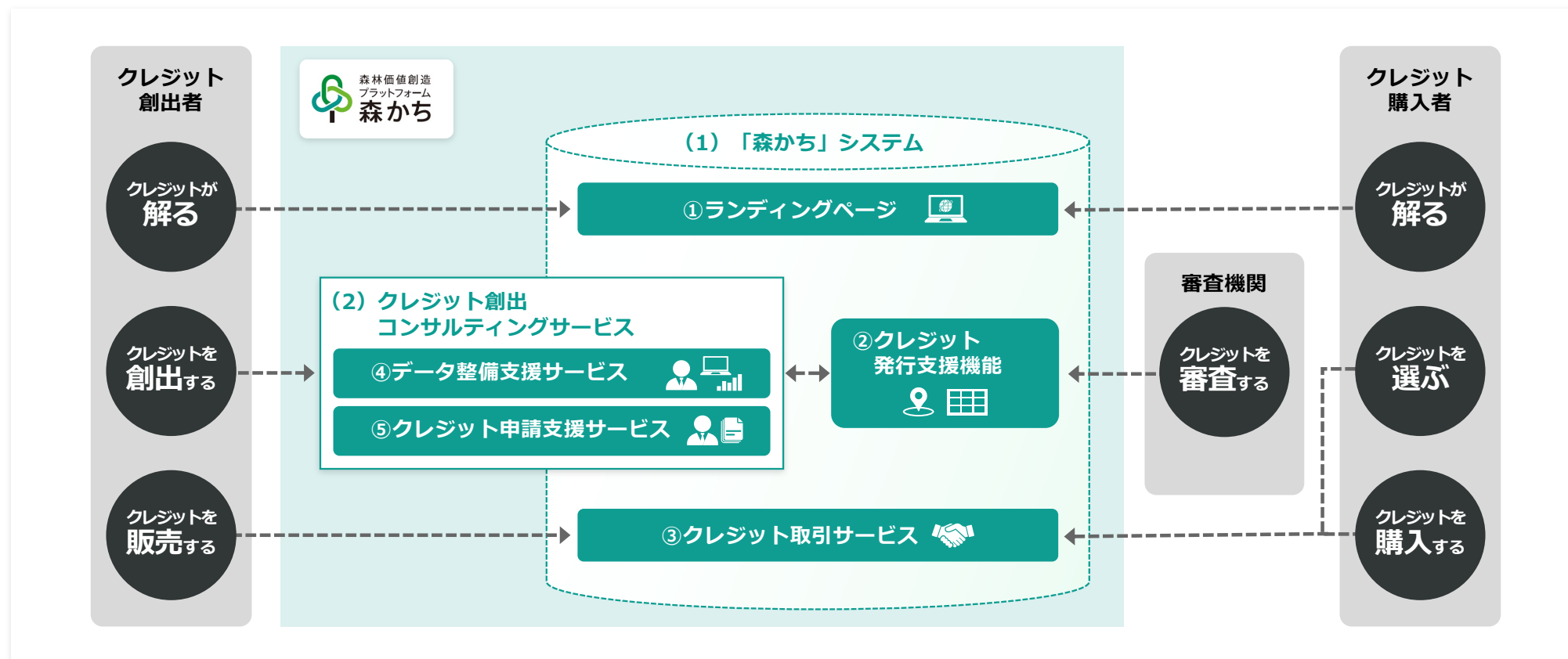


※J-クレジット制度事務局HP統計資料 J-クレジットの活用（無効化償却量）の状況より

抱える課題・ニーズ	
クレジット 創出者	■ クレジット創出手続きが分かりづらく煩雑 ■ 適切なデータ管理・報告が大きな負担 ■ 購入者と繋がりがなく、販売先を探すことが困難
審査機関	■ 膨大な量の書類を扱うため、負担が大きい ■ 書類から対象森林の位置関係を把握することが困難であり、図面と見比べながらの審査が大変
クレジット 購入者	■ クレジットに関する情報が限られており、欲しいクレジットが容易に見つからない ■ 購入したクレジットの信頼性について不安がある ■ クレジット購入による地域、環境への貢献を効果的に発信したい

森林価値創造プラットフォーム（森かち）とは

- 住友林業の森林クレジットビジネス拡大とNTTComの脱炭素プラットフォームの構想が合致し、**2021年から協業を開始**
- 森林クレジットの創出者、審査機関、購入者、それぞれの課題を解決するために構築



森かちの特長（申請書類作成支援機能）

クレジット創出者

審査機関

クレジット購入者

現状

The image shows a screenshot of a Microsoft Excel spreadsheet. It contains multiple columns and rows of data, likely representing harvest forecasts. The data is organized into several sections, with some cells highlighted in yellow. The spreadsheet is used for manual data entry of harvest forecasts.

- 収穫予想表から数値を読み取り手入力
- 不要なシートが多数
- どこに何を記入すれば良いか分かりにくい

森かち

The image shows a screenshot of the '森かち' (Mokachi) web application interface. It displays a monitoring report form with various fields for project information, status, and monitoring details. The interface is designed to streamline the process of creating and managing monitoring reports.

- 収穫予想表マスタデータによる自動入力
- プロジェクト条件入力による不要箇所の省略
- 入力ガイドによる効率的な書類作成を支援

森かちの特長（データ管理・審査支援機能）

クレジット創出者

審査機関

クレジット購入者

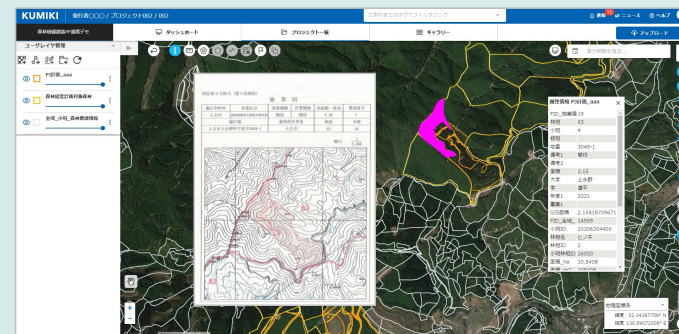
現状



- さまざまな種類の資料・データの管理・報告が大きな負担
- 書類・図面だけでは対象森林の位置関係を把握することは困難



森かち



- すべての資料・データをデジタル化し、対象となる森林の位置情報と紐づけて管理
- 認証対象期間中のデータ管理が容易になる
- オンラインを活用した審査が可能

森かちの特長（販売ページ）

クレジット創出者

審査機関

クレジット購入者

現状

検索結果

通査型

プログラム型

プロジェクト番号	登録申請日	プロジェクト実施者・法人番号	プロジェクト実施地	クレジット取得予定者・法人番号	プロジェクト概要	認証開始の開始日	適用方法論	関係書類
10	2013/12/27				町有林における森林管理活動	2013/04/01	FO-001 Ver 2.0	プロジェクト計画書 プロジェクト計画書別紙 自治体認証計画書 プロジェクト計画書別紙 自治体認証計画書別紙 プロジェクト計画書別紙 自治体認証計画書別紙
14	2014/02/12				私有林における森林管理活動	2013/04/01	FO-001 Ver 2.0	プロジェクト計画書 プロジェクト計画書別紙 自治体認証計画書 プロジェクト計画書別紙 自治体認証計画書別紙 プロジェクト計画書別紙 自治体認証計画書別紙
27	2014/02/12				私有林における森林管理活動	2013/06/01	FO-001 Ver 2.0	プロジェクト計画書 プロジェクト計画書別紙 自治体認証計画書 プロジェクト計画書別紙 自治体認証計画書別紙 プロジェクト計画書別紙 自治体認証計画書別紙
31	2014/03/24				町有林における森林管理活動			プロジェクト計画書 プロジェクト計画書別紙 自治体認証計画書 プロジェクト計画書別紙 自治体認証計画書別紙 プロジェクト計画書別紙 自治体認証計画書別紙
34	2014/03/24				私有林における森林管理活動			プロジェクト計画書 プロジェクト計画書別紙 自治体認証計画書 プロジェクト計画書別紙 自治体認証計画書別紙 プロジェクト計画書別紙 自治体認証計画書別紙
36	2014/03/24				町有林における森林管理活動			プロジェクト計画書 プロジェクト計画書別紙 自治体認証計画書 プロジェクト計画書別紙 自治体認証計画書別紙 プロジェクト計画書別紙 自治体認証計画書別紙
37	2014/02/12				私有林における森林管理活動			プロジェクト計画書 プロジェクト計画書別紙 自治体認証計画書 プロジェクト計画書別紙 自治体認証計画書別紙 プロジェクト計画書別紙 自治体認証計画書別紙

- 森林クレジットの情報を一覧できるのは制度事務局HPのみ
- クレジットに関して詳細の情報が掲載されているのは申請書類のみの場合が多い

森かち



- 販売ページに創出地域、実施者情報、森林整備による環境貢献などが分かり易くまとまっている
- どのようにして「クレジットで森育む」につながっているのか、実感し易くなっている

提供体制

両社の強みを掛け合わせ、質の高い森林由来J-クレジットの創出、透明性の高い流通を促進

両社の特徴・強み

- 森林・林業における幅広いバリューチェーン
- 森林経営に関する豊富なノウハウ
- クレジット創出支援・取引に関する豊富な実績
(森林由来クレジット発行民間第一号)



- 森かちの運営
- クレジット創出コンサルティングサービス提供
- 森かちのプロモーション

- AI・IoT・5GなどのICTテクノロジー技術
- 公共性と事業性の同時実現を目指すDNA
- 安定性・信頼性の高いシステムの豊富な運用実績



- 森かちシステムの開発と運用
- 森かちのプロモーション

森かちにおける両社の役割

今後の展開

- CO₂吸収だけでなく、**その他の機能も定量評価・取引できるプラットフォーム**を目指したい
- 森林クレジットの創出をきっかけとして、**森林管理のデジタル化**にもつなげていきたい

